

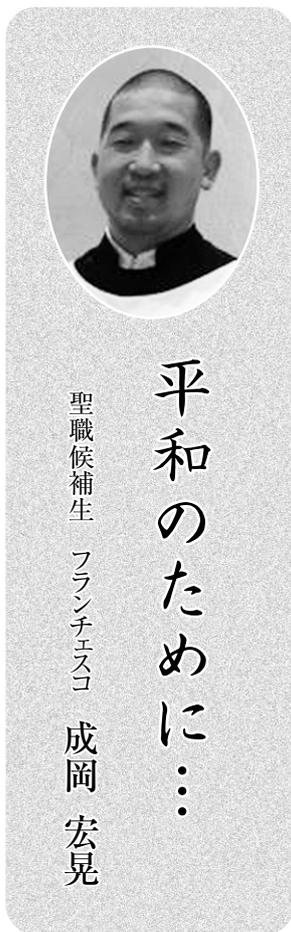


日本聖公会
大阪教区教務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
教務局長 司祭 原田光雄

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第438号 2014年8月24日発行

私たちの身の回りには「平和の祈り」や、「平和のための祈り」と呼ばれている成文祈禱がいくつも存在しています。「フランチェスコの平和の祈り」、そして祈禱書の中にも「世界平和のため」、「産業社会の平和のため」、「そして「戦争、分裂、争いの終結のため」などが掲載されています。他にも多くの祈りがあります。



聖職候補生 フランチェスコ 成岡 宏晃

平和のために…

み言葉に聴き、祈りをささげ、福音を証しし、絶えず真理を求め、旅を続けていきます。そんな私たちにとつての平和の祈りとは、絶えず、主イエス・キリストの生涯を想起し、そこに立ち返り、一人ひとりに与えられた働きの中で福音を証しすることだと思います。しかし、スピーディーな時

大齋節前主日の特禱は、平和のために祈る私たちが、いつでも根幹に持ち続けたい心からの願いを、シンプルに祈りの言葉に表している祈禱文のひとつであるように思います。平和が実現されるということは、私たちがこれまで重ねてきた多くの過ちが、きれいさっぱりなくなるといったことではありません。私たちは「取り返しのないこと」としてしまい、人を傷つけ、自分を傷つけ、世界を傷つけてし

私たちは、祈ることによって、十字架を見えなくするのではなく、十字架を負う力を強められます。平和のために祈るといことは、負い目を負いながらも、単純素朴な神さまへの信頼を持ちながら、主イエス・キリストのみ心のうちに、絶えず変えられ続けていくことでもあります。

「秩序を保つため」ではなく「いのちを尊ぶため」に、私たちがしっかりと過ちの上に立ち、担い合いながら主によって生かされていきたいと願っています。

り、私たちはさまざまな角度から、また立場から、平和の実現のために祈ることを実践しています。

祈ることの大きな意味は、想起起こすこと、行動することにあるとよく言われます。ことに、私たち聖公会の教会は一人ひとりが生活しているコンテキスト（地域や環境や時代や関係性など）の中で、

代のうねりの中で、一体何が真理なのか、わからなくなることさえ日常茶飯事であります。私たちが平和のために祈ろうとする時に、決して置き去りにしてはならないことは、神さまが私たちに与えてくださった、一人ひとりの尊い「いのち」を大切にするということとあります。少し時期は異なりますが、

まいいます。そんな私たちが、み子イエス・キリストの受難と復活を想起起こし、その栄光を実現させるためには、自分たちの理想を追い求めるだけではなく、自分自身の中にある生々しい、すべての思いと言葉と行いを、神さまにささげ、そして担い合わなければなりません。

「神よ、あなたはその独り子の受難の前に、聖なる山の上でみ子の栄光を現されました。どうかわたしたちが、信仰によってみ顔の光を仰ぎ見、自分の十字架を負う力を強められ、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン」(大齋節前主日特禱)

中聖ミカエル教会勤務、聖ミカエル保育園副園長)

日本聖公会
第61(定期)総会

祈祷書改正準備委設置、
ヘイトクライム根絶声明など

常置委員長(総会聖職代議員)

司祭 施洗者ヨハネ 山本 眞

5月27日(火)から29日(木)まで、東京教区牛込聖バルナバ教会を会場にして日本聖公会第61(定期)総会が開催され、大西修主教、岩城聰司祭、佐野信三さん、長野泰信さんとともに出席しました。18の報告が承認され、37の議案が一つの修正を含みすべて可決されました。

すべてを紹介できませんが、「祈祷書一部改正」は入信の式のルブリックの一部の改正です。「堅信を受けた者は陪餐することができ」という文言が削除され、「洗礼を受けた者は陪餐することができ」という文言が加えられました。ただしこれは1回の総会決議では確定しません。次期総会で承認されて初めて確定します。またその間に法憲法規の改正や他教派からの転入に関する事、こどもの陪餐の問題など、日本聖公会の

組織・制度に関わる多くの検討が必要となります。また「祈祷書改正準備委員会の設置」が決まりました。将来の祈祷書改正のための準備を始めるものです。「女性聖職者に関わる諸問題についての調整・提言作成のための特別委員会の設置」も決まりました。司祭志願要件から「男子」という文言が消えて15年、未だに全教区で受け入れられてはいないという現実を映し出しています。さらに「ハラスメントに関する担当者」を管区に設置することとなりました。

また、「ヘイトクライム(人種・民族憎悪犯罪)・ヘイトスピーチ(人種差別・排外表現)の根絶と真の多民族・多文化共生社会の創造を求める日本聖公会の立場」という声明を採択する件が提案され、可決しました。これはわたしたちの大阪教区、京都教区、東京教区、そして管区の正義と平和委員会、青年委員会の連名による提案でした。聖公会生野センターへの関わりを大切にしているわたしたちにとって、ヘイトクライム・ヘイトスピーチを放置することは許されません。鶴橋駅周辺などで行われているこの種の街宣活動は、「表現の自由」ではなく、「言葉による暴力・犯罪」です。議場では、約5分間のヘイトスピーチ現場の映像が流されましたが、視聴に堪えない、目と耳をふさぎたくない、心拍数が上がる恐ろしいものでした。幸い、議場ではこの提案に非常に好意的であり、全会一致で可決したことに励まされる思いがしました。

「日韓聖公会宣教協働30周年記念大会」を本年10月に韓国・濟州島で開催することも決まりました。また、聖公会年金の問題も、年金規約の一部改正が決議され、2015年から掛け金の10%引き上げと支給年金の10%減額が決まりました。つらいところでありますが、年金制度を維持するためにはやむを得ないところです。首座主教選挙では植松誠主教が再選(5期目)され、管区総主事には京都教区の矢萩新一司祭が指名されました。全体として、誠実、真摯な協議が行われ、閉会しました。次期定期総会は2016年5月、大阪教区は新主教を擁して出席することですが、幼児

陪餐の問題が取り上げられることは必定です。また、わたしたち大阪教区にとっては京都教区との合併問題を提案できるかどうかということもあります。日本聖公会にとって、また大阪教区にとって、「変化の2年」になりそうです。(やまもと まこと・芦屋聖マルコ教会牧師)

6月7日(土)午後5時から、日本基督教団大阪福島教会で第8回ペンテコステ・ヴィジル(聖霊降臨日前夕の礼拝)が執り行われました。約70人が集まりました。礼拝は井上隆晶牧師(日本基督教団)、吉岡秀紀神父(カトリック)、松本義宣牧師(日本福音ルーテル)、内田望司祭(聖

第8回 ペンテコステ・ヴィジル

(聖霊降臨日前夕の礼拝)

司祭 テモテ 内田 望

公会)の共同司式で進められ、正木牧人牧師(神戸ルーテル神学校校長)が説教をされました。「イエスさまは弟(次頁4段目につづく)



シリーズ 聖公会関連施設紹介 ③

特別養護老人ホーム ふれ愛の家

地域に愛され、地域と共に

施設長 梶山 尚也



東光学園は戦前に現在地である堺の土塔の地で英国宣教師が女性保護の事業として「慈愛館」を開設し、戦後は戦災孤児の養護事業として再出発いたしました。まもなく100周年を迎えようとしています。

特別養護老人ホーム「ふれ愛の家」は、80周年の記念事業として1996年に東光学

園の中に開設して以来、地域の中核施設であり、2012年には土塔を始め、東百舌鳥、東深井の近隣地域の総合相談窓口として地域包括支援センターを堺市より受託運営し、施設と在宅福祉の両面から地域に根ざした支援に取り組んでいます。

歴史あるこの地域には「ふとん太鼓のお祭り」や「だんじり祭り」が各町会ごとに行われるところであり、地域の方々の祭りに対する思い入れが強く、特養利用者もお祭りの日には、ウキウキして血が騒ぐかのように総出で出かけて行き、大きな声援を送りま

(前頁よりつづく)
子たちが心を一つにして祈っているところに聖霊を降してくださいました。その聖霊によってイエスさまのことを宣べ伝えていった弟子たちに倣い、弱い私たちも真剣に祈り、聖霊をいただきつつ、イエスさまのことを宣べ伝えて行き、

与えられた使命を果たしていきましよう」との力強いメッセージに、一人ひとりが注がれた聖霊に導かれ散会しました。来年は、カトリック教会で行う予定になっています。(うちだ のぞむ 堺聖テモテ教会牧師・聖ルシヤ教会牧師)

を傾け、愛と和をモットーに地域から愛され、地域と共に歩む施設づくりを大切に参ります。(かじやま なおや・社会福祉法人東光学園特別養護老人ホーム施設長)



挨拶

毎朝、玄関前の花壇の草花に水をやり、教区館の駐車場と

前の道路を掃除していると、いつも8時前に向こう側の道路と歩道を掃除するおじさんがやって来ます。登校する子どもたちや学生た

ち一人ひとりに「おはようござ

いませす。気を付けて行つてらっしゃい」と

笑顔をもって大きな声で挨拶

します。道行くすべての人も

同じように「おはようござ

います。行つてらっしゃい」と

と声をかける態度には感心し

驚かされます。知らない人から挨拶されたので、初めはやり過ぎす人も、2度3度と挨拶されると、いつの間にかその挨拶に対して、「おはようございませす」と応答するようになっていくから不思議です。時にはなかなか手ごわい人もいます。わたしも挨拶はしますが、そのおじさんのように道行くすべての人にはしていません。気持ちのどこかで、知らず知らずのうちに挨拶する人を選んでいるのでしよう。挨拶し

なかつたり、することが恥ずかしくなったり、したくない思いがある時、人と人との関わりをどこかで拒否している自分、人の目を気にし過ぎてい

る自分に気づきます。聖餐式の中で「主の平和」と言つて平和の挨拶を交わす時、わたしは目を挨拶する相手に向け、そしてその人の内においでになるイエス・キリストに向けるように心がけて

(主教サムエル大西 修)



京都教区・大阪教区

合同教役者修養会

大阪・京都両教区の合同教役者修養会が、6月11日から13日に京都市内の関西セミナーハウスと大原山荘を会場に行われました。

教区とは、元々主教が信徒の食事のお世話が出来た範囲であったという竹内謙太郎司祭(東京教区退職)の示唆に

..... (つのぶえ編集部)

聖職候補生 モーセ 石垣 進

岸和田復活教会へ遣わされ、一日一日が着実に過ぎていく、そんな日々のなかで大阪・京都の教役者修養会が開かれた。何をしているところか不安を抱きながら参加した。開会の祈りに続いて、竹内謙太郎司祭の講演を拝聴し、それぞれがグループに分かれて感じたことについて話し合った。教区合併への課題へと進んだ。この課題は、京都教区で何年も議論されているはずであるが、突然の出来事のように感じるほど私の意識は低かった。

富む基調講演を聴いた後、現在、合併を視野に両教区の協働が推進されている中、この合併という課題について大いに分かち合う機会となりました。参加者のうち、二人の京都教区教役者の感想を紹介致します。

..... (つのぶえ編集部)

教役者間では、主教聖堂をどこにするのかなど、具体的な話し合いができたところまで、交流が進んでいたことを知った。教会の信徒さんの段階では、教役者のような交流がないように思われる。だからこれから岸和田復活教会の信徒さんと一緒にあって、大阪教区との交流を積極的に進めていきたいと感じた。殊に近隣の教会との合同プログラムも考えられるであろう。しかし、反対の信徒さんもいらつしやるので慎重でありたいという司祭さんもおられた。あまり先走らないようにとい

公 示

日本聖公会大阪教区第 112 [臨時] 教区会を、
下記のように招集します。
加えて、各教会の代祷を求めます。

救主降生 2014年8月1日
日本聖公会大阪教区
教区会議長 主教 サムエル 大西 修

記

会 期 2014年9月15日 (月・休日)
午前9時から午後4時
議 場 日本聖公会大阪教区主教座聖堂(川口基督教会)
礼拝堂
大阪市西区川口1丁目3番8号
議 案 教 区 主 教 選 挙

なお、上記教区会の書記および会計を下記のように指名します。

書 記 司 祭 ペテロ 岩 城 聰
司 祭 ヨハネ 古 澤 秀 利
会 計 司 祭 ヨシユア 原 田 光 雄
テレジア 水 畑 裕 美

教区主教選挙のための祈り

すべての良い賜物の与え主である全能の神よ、主の公会の主教を選挙する大阪教区の教役者議員と信徒代議員の心を、聖霊によって清め導いてください。どうかこれによってみ心にかなう人が選ばれ、み名の栄光を現し、公会の徳を建てることのできるようにしてください。
主イエス・キリストのみ名によってお願いいたします。アーメン

う、私への警鐘のように聞かされた。このように信徒さんの声に心を留めることを学んだ

..... (いのしがき すすむ・京都教区・岸和田復活教会)

聖職候補生 プリスカ 中尾 貢三子

初参加の教役者修養会。教役者の方々が、教区を越えてあちこちで話し込んでおられる様子を拝見し、すでに10回目となる会の積み重ねを実感しました。
2日目の朝、宿舎の近くの圓光寺にて早朝座禅体験がありました。座禅の座り方、集中の仕方を聞いてから、線香

有益な3日間だった。

二本分(約20分)座ります。それだけでも集中力を保つことの思いや願いを祈るばかりで、神さまの前に静まって神さまに聞くということができていない自分のありかたに気づかされました。座禅の後、ご住職から寺の後継者不足のこと、葬儀年忌や檀家制度に頼ってきた運営が成り立たなくなってきたことなどをお聞き

しました。「我々宗教者が世界の隅を照らす光でありつづけない」とおっしゃったご住職の言葉。聖公会は、京都教区、大阪教区はどんな光を照らし続けるのか？それをしっかりと考え続けていきたいという思いを新たにしたいと時でした。

(なかお くみこ・京都教区・京都聖ステパノ教会)



このマークの記事は『大阪教区報』と『つのぶえ』(京都教区報)の共通記事です。

沖縄の旅に参加して まだ戦争は終わらないと…

司祭 ヨハネ 古澤 秀利

6月20日から23日まで沖縄の旅「命どう宝く御心が行われまますように」に参加させていただきました。参加者は部分参加の方も含めて40人ほどで、大阪からは信徒2人と教役者2人の参加でした。沖縄の旅は沖縄教区と「日本聖公会正義と平和委員会」が「沖縄週間」にあわせて沖縄の歴史と現在を学ぶ旅ですが、誰

でも参加(同行)可能な開かれた旅でもあります。沖縄の旅は毎年異なった場所を訪れて沖縄の歴史と現在を学ぶようですが、今年はコザ(沖縄市)と辺野古を訪れました。コザではフィールドトリップがあり、アメリカをはじめ諸外国の影響を強く受けてきた沖縄市の戦後の歴史や、1970年に米軍統治への怒りが頂点に達して起こったコザ騒動について学びました。そして辺野古では基地建設反対に賛同し座り込みをされているテント村を訪れました。座り込みを続けておられる平良悦美さんが「子どもたちのために」という想いから基地に反対するようになったことを話してくださいったことが印象的でした。



糸満市の海岸で

最終日には糸満市米須にある「魂魄之塔」を訪れ沖縄戦について学ぶと共に、海岸で閉会礼拝の時を持ちました。



OK委員会はいま??

大阪教区と京都教区の合併を推進する委員会報告

7月16日に4回目の委員会が開催されました。前回委員会が上がった

執事 出口 崇

新たなメンバーとして加わり、「教区編成」の作業部会に入っていたいただきます。教区合併の法的問題としま

新たな課題を、各作業部会がそれぞれの調査、検討をいたしました。

京都側委員の矢萩司祭が管区総主事になり、辞められるため、今回から宣教局長の小林聡司祭が

しては、現在、大阪教区は大阪府が、京都教区は京都府が管轄しております。京都教区は多府県に同一法人の教会がまたがっておりますが、全て京都府が担当しております。一方大阪教区は兵庫県にある教会は独自の宗教法人格を持っています。

仮にどちらかの教区に吸収合併という形であれば、主たる事業所(教区事務所)のある地方自治体の管轄となりませんが、両教区が解散して、新たに宗教法人を作る場合は多府県にまたがるため、地方自治体ではなく、文化庁が担当するそうです。

当委員会では、両教区の対等な合併(解散後新たな法人を作る)を念頭に活動しており、法整備にお詳しい先生方や、教務所の職員の方々に作

業をしていただき、現在文化庁の担当者にも両教区の法人規則を送り、今後の指導を求めております。

また、教区事務所については、合併後数年は膨大な業務作業等が発生することが予測されるため、現在の両教区事務所のいずれかを「主たる事務所」「従たる事務所」として開始する「二箇所案」が適当と考えられ、大阪教区事務所の移転なども含めた検討を、外部の専門家の協力を仰ぎながら進めております。

次回は9月に委員会を開催し、11月の教区会に向けた中間報告の叩き台を各作業部会が作成していく予定です。(でぐち たかし・大阪教区と京都教区の合併を推進する委員会広報担当・京都教区執事)

6月23日は沖縄県慰霊の日です。米軍による3カ月間の空襲や艦砲射撃によって20万人の死者が出たと言われています。そして沖縄本島での攻防による多数の死者。今回は訪れませんが、摩文仁の丘にある平和の礎には、沖縄

戦で亡くなった方々の名前が刻銘されています。毎年身元が判明した方のお名前が新しく刻まれており、その方々のお名前は22日に行われた沖縄教区行事の「慰霊の日」礼拝の中でも憶えて祈りました。

戦争が終わり69年が経ちましたが、毎年新しく刻まれる戦没者のお名前のことを思うとまだまだ戦争は終わっていないなと感じます。主が造られた全ての生命が大切にされますようお祈りいたします。(ふるさわ ひでとし・高槻聖マリヤ教会副牧師)

信徒の学び 出張講座

「なぜ礼拝するのか？なぜ歌うのか？」

ヨハンナ 青柳 亜矢

梅雨の曇り空の主日の午後、45人の人たちが阪神地区の会場である西宮聖ペテロ教会に集まり、礼拝・音楽委員の内田望司祭、辻彩乃さんの講義に聴き入りました。

前半の内田司祭の講義では、礼拝によって神の愛の呼びかけに対する応答を行い、神との契約を更新する大切さを学びました。その中で、キリスト教団での司牧経験のある信徒の方からの「聖公会はみ言葉と聖餐のどちらを大切にす

るのか？」という質問に対し、どちらも重要で、前半の聖書朗読、信経、懺悔、後半の奉獻、感謝聖別、陪餐など一つひとつとれをとつても、意味を持ちつながっているということ

が、大変印象に残りました。後半の辻委員の講義では、礼拝の中で順に歌われる聖歌が、どう選ばれ、そこで歌われる意味などを学びました。オルガニストとして奉仕している私にとって、内容の全てが興味深く、私が一番大切にすべきと考え、奉仕してきた、皆の祈り、賛美を神に届ける

助けをするというオルガニストとしての役割を再認識でき、自分の信仰を深めるという意味でも、有意義な時間が過ごせました。今回、私が興味をそそられ出席した理由の一つが「出張講座」というネーミングです。私たちのところに



写真は第2回講座の様子 (川口基督教会)

夏キッズ 教区キッズフェスティバル 2014

ドルカス 碓井 桂

子どもたちが夏休みに入ったばかりの7月21日(月・休)川口基督教会にて「夏キッズ」(大阪教区子ども礼拝)が行われました。

オープニングは、大阪教区90周年記念聖歌「神さまの風へのつて」に合わせてみんなで輪になって踊り、楽しく始まりました。今回のテーマは「子どもたちが

つくる礼拝ワークシヨップ」です。午後からみんなで献げる礼拝に向けて子どもたちはサーバー、奏楽、スタンツなどのチームに分かれ、それぞれの奉仕の準備のスタートです。大人のトーンチャイムのチームには、大西主教ご夫妻も加わって下さり、それぞれのきれいな音色に「オー！」と歓声をあげながら、和気あいあいと練習に励みました。屋食は連合男子会の方々のご

奉仕によるおいしいカレーライスをいただき、お腹も満たされ、更にパワーアップして各チーム、リハーサルを行いました。そして午後の礼拝では少し緊張しながらも一生懸命それぞれの役割をつとめている子どもたち、やさしく声をかけサポートする青年リーダー、それを温かく見守る大人、そこに集う人々が神さまにみ守られ、心をひとつにして礼拝を献げることができました。主に感謝します。(うすい かつら・芦屋聖マルコ教会信徒)

「信徒の学び」出張講座のご案内

なぜ礼拝するのか？
なぜ歌うのか？

2014年8月31日(日) 14時~16時
(受付13時半~)

堺聖テモテ教会 TEL 072-261-2015

参加費無料
持ち物：祈禱書、聖歌集

やすく講義していただき、期待通りの内容でした。(あおやぎ あや・西宮聖ペテロ教会信徒)
※なお第3回出張講座は左記の日程で行われる。

大阪教区婦人会旅行

米子・松江をめぐる、交わり深める

オディリア 上谷 衣代

去る6月4～5日、米子・松江をめぐる1泊2日の婦人会旅行に参加させて頂きました。初参加の緊張もあり少しばかりの不安を抱いて集合場所に到着したのですがバスの中は出発前から既に大賑わい！不安を感じる暇もなく、主教ご夫妻をはじめ総勢約80人を乗せたバスは一路山陰へと出発しました。



大山のレストラン前で2班に分かれて

美味しなお昼ご飯を堪能した後は、安来市にある足立美術館へ。こちらは個人の収蔵品を基に開館されたそうですが、有名な横山大観の作品群の他にも近代日本画壇の巨匠達の作品があふれんばかりに展示されています。個人的には、大好きな上村松園の日本画を見られたのが思いがけないうれしさでした。また庭園も素晴らしく、折しも降り出した霧雨にぬれる「枯山水庭」「白砂青松庭」「苔庭」「池庭」など六つのお庭を見ながらひと

時の静寂を味わわせて頂きました。

そしていよいよ今夜の宿泊地、皆生温泉へ。まずは温泉で一日の疲れを癒したらお楽しみ懇親会の始まりです。各参加教会の皆様が趣向を凝らした演目の楽しかったこと！ユーモアあふれる教会紹介のお話・歌・川柳などなど。私達川口基督教会は朝の連ドラ「花子とアン」のパロディ劇をご披露させて頂きましたが、とりわけ大西主教夫人と岩城司祭夫人の熱演ぶりには出演者も抱腹絶倒！笑いに包まれた和やかな懇親会となりました。

さて翌日は朝から米子聖ニコラス教会訪問と聖餐式です。美しいだけではなく大変響きの良い聖堂で、荘厳に響くパイオルガンのもと豊かな礼拝を守らせて頂きました。併設された幼稚園の登園時間も重なりお忙しい中、瀬山司祭ご夫妻をはじめ教会信徒の皆様には心のこもったおもてなしを頂き感謝な事でした。いよいよ本降りになって来た雨の中外に出てお見送り下さる皆様との名残を惜しみつつ

私達は由志園へ。こちらでは今を盛りの花菖蒲や温室の中で咲き誇る色とりどりの牡丹に目を奪われながら庭園の散策とお食事を楽しんだ後、最後の目的地松江へと向かいました。

松江に着く頃は雨足もきつくなっていました。雨に煙る城下町も風情があつて良いものでした。松江では、①松江城見学、②小泉八雲旧邸・武家屋敷見学、③松江城堀めぐり、④地ビール館の4コースに分かれ、短い時間でしたが思い思いに松江の街を楽し

みました。私は松江城に行つたのですが江戸時代そのままに保存された天守閣に松江人の郷土への誇りを見た思いがし感動しました。

駆け足で紹介した教区婦人会旅行でしたが少しでも楽しさをお伝えする事が出来たでしょうか。日頃接する機会のない他教会の方々と親しくお交わりが出来た事はなにより得難い恵みであったと思われました。またいつかこのような機会がありますように。(うえたに きぬよ・川口基督教会信徒)

日本聖公会婦人会 京都で会長会開かれる

日本聖公会婦人会第24(定期)総会後の第1回会長会が6月18日～19日に京都教区センターで開かれました。

どこの教区婦人会も若い方々の会員数が増えず、さまざまな困難を抱えている中、京都教区の役員会は若い方々が多くの役を担われ、テキパキと進行され、元氣付けられました。

大阪教区から提出した議案

(神戸教区との修正案となる) 東日本大震災支援の「原発と放射能に関する特別問題プロジェクト」特に戸外で充分遊ぶことの出来ない子供達のための心身リフレッシュ(遠足)プログラムのために2年間、感謝箱献金及び婦人会会計より合わせて35万円を献げることが可決されました。

(教区婦人会 会長 宇野喜 句子、副会長 岡野美智子)

特別寄稿

原発問題についての



日本聖公会・原発と放射能に関する特別問題プロジェクト

⑦ 内部被ばくと子どもたちの未来―被災地の声

原爆や核実験、原発事故で放出された放射性物質を、呼吸や水、食事の摂取、また傷口などから体内に取り込むと、内部被ばくの原因になります。放射線が体に当たると、ガンや遺伝的影響が起るの、細胞に微細な傷がつき、それがいろいろな要因と結びついて、障害の原因になり、特に成長期では、細胞分裂の頻度も高いので、放射線の影響を受けやすいのです。東日本大震災ことに、原発の破局的な大惨事と放射能汚染により、特に、子どもへの身体への影響が心配されています。この6月5日(2013年)、これまで甲状腺の診断結果を報告した福島県の県民健康管理調査の検討会の発表によれば、これまで検査を受けた福島県内の17万5499名の18歳未満の子どものうち、甲状腺

がんと確定された子どもは12人、甲状腺がんの疑いのある子どもは15人とのことである。チェルノブイリ事故前は、子どもの甲状腺がんの発生率は100万人に数名、と言われていたことを考えれば、この福島での発生率は異常です。今後さらに調査が進めばどうなるか、重大な関心を払う必要があります。福島県と検査を行った福島県立医大は「原発事故による影響ではない」としていますが、保護者の多くは不安を持ちながら生活しています。今後、対象となる36万人全員の検査を行い、一人ひとりに丁寧な説明がなされる必要があります。放射性セシウムで汚染された食べ物を食べると、内部被ばくの危険が増します。現在、店頭に並べられている福島産の食品は、すべてモニタリング検査済のものですが、特に、子どもを持つ家庭では、細心の注意を払いながら生活して

います。震災後、公園で遊ぶ子どもの姿が見られなくなりました。子どもたちが活動する公園や校庭、園庭などの除染は、すべてなされていますが、場所によっては除染後数か月で再び汚染が起る事例も報告されており、何度でも徹底した除染を行うことは大切なことです。人体の内部被ばくを測る機械に、ホールボディカウンタ

1(WBC)があります。バリウムに変わる過程で出るガンマ線を検出し、体の中のセシウムの放射能の量が推定できます。福島市では、2012年11月から、WBCの内部被ばく検査を進めています。年齢や地域などに分けて、希望者に検査がなされています。住民の不安を取り除くためにも、正しい放射線教育、日常食の放射性物質のモニタリング調査を続けていくことは、重要なことです。2012年10月から、福島県に住む「18歳未満の子どもの医療費無料化」が、県独自(復興予算の

中から)でなされていますが、このままで行くと6年間で終了する計算です。その後のことはどうなるのか、子どもたちの将来の健康に関する心配は尽きません。継続して検査ができるようにすること、保護者にわかりやすく現状を伝えるようにすることが重要であり、それらを国、東京電力、各自治体が、責任を持って進めて行くことが大切です。 監修・河田昌東(NPO法人チェルノブイリ救援・中部理事)

世界の窓

◎中東・ユダヤ教徒、キリスト教徒、イスラム教徒が平和のパンを裂き

エルサレムのキッズ・フオー・ピース(OaksPeace:平和運動を推進する国際NGO)は、ラマダン(イスラム教の断食月・夜明けから日没までを断食する)の間にイフタール

(断食後の夕食)でイスラム教徒、ユダヤ教徒、キリスト教徒、パレスチナ人、イスラエル人の少年少女が共に集まり、共に祈り、共にパンを裂く集いを開いている。この宗教を超えたイフタールの目的は、暴力に反対し平和を培うためである。しかし、平和を望んでいても報復を危惧して、この集いに参加することを恐れる者も多い。この集いは平和構築への始まりに過ぎない

が、イフタールに参加したユダヤ人女性ザハヴァは、ひとつの部屋にイスラム教徒、ユダヤ教徒とキリスト教徒が共に話し合い、笑いあいながら食事をしている姿を見てジョン・レノンの曲「イマジンを思い出したと語る。クリスマス3年生)のカーラは、平和と愛を示す道がまだここにあると感じたと言った。 (Anglican Communion (次頁3段目につづく))

聖贖主教会

待望のエレベーターが設置

司祭 クリストファー 奥村 貴充



聖贖主教会の創立100周年を迎えた2007年は、65歳以上の人口が総人口に占める割合が21・5%を上回り、日本が超高齢社会に突入した年でもありました。このような世相の中、高齢化の波は当然のこと教会にも押し寄せてくるのでした。

この教会は1936年建築で1階に隣保館、2階に礼拝堂を備える当時としては画期的

的なヴォーリズの名建築物でしたが、段差など「時代的な制約がある」ということは否定できません（玄関前の段差は90年代にフラットにしました）。社会状況の移り変わりとともにたとえ名建築物だとしても、段差があることによつて礼拝に参加することが困難な構造になっていくのです。もちろん設計当初は誰もが想像し得ない想定外のことだったでしょう。

そういうわけで2005年5月より階段昇降機を設置することで対応していました。ただ、この階段昇降機も状況の変化には対応が困難になってきました。昇降機の座席にて座位を維持することが困難な方も見られるようになってきたためであり、4人がかりで介助しながら車椅子に座ったまま2階へ上がっていたのだということが一般化してきたのです。こういった事情からエレベーターの設置に向け

(前頁よりつづく)
News Service: July 10th, 2014)

◎中国・十字架が強制撤去に
7月28日、「中国のエルサレム」として知られる街で、何百人にもおよぶ警察隊が教会の十字架を強制撤去した。クウ・リヌオ才宣教師によると、警察隊がクレーンを使用して温州市東部のロンガンファイエーン教会の尖塔にあった3メートルの赤い十字架を取り除いたという。中国当局は撤去した理由を、教会の十字架が建築基準の高さ制限に違反しているからだとしている。また、温州市の位置する浙江省

だけでも同様の理由で、130以上の十字架が撤去対象となっていることを伝えた。当局は、建築基準に抵触する数万の建造物を対象としており、宗教・非宗教施設に関係はないとしているが、専門家は急成長しているキリスト教を抑制しようとしているのではないかと憂慮している。中国のクリスチャン人口は、公式に2300万人(2010年)となっているが、米国のピュー研究所はプロテスタント信徒数を5800万人(2011年)、カトリック信徒数を900万人(2010年)と

推計しており、一部の専門家は、中国のクリスチャンの総数が1億人を超えるのではないかとさえ言っている。中国の宗教社会学に精通している、パデュー大学(米国)のヤン・フンガン教授は、教会の十字架がどのような建築基準に違反するのか想像できないとしたうえで、急成長しているキリスト教を当局が警戒しているというこの表れではないかと考えている。(Anglican Communion News Service: July 28th, 2014)
司祭 ヤコブ松平 功・桃山学院大学チャプレン)

て検討され始め、信徒からの遺贈金などをもとに工事が始まりました。
7月13日、2カ月の工期を経て待望のエレベーターが完成し、施設職員や工事関係者も参列して祝福式をお献げしました。このエレベーターにより車椅子の方々も礼拝に集いやすくなっています。
(おくむら たかみつ・聖贖主教会牧師)

聖ルシヤ教会の牧師館
格安で 信徒の方に
お貸しできます。

- ・対象 — 信徒の皆さま
- ・間取り — 3DK (5階建の4階。エレベーターはありません)
- ・築 — 45年
- ・家賃 — 45000円 (管理費も含む。敷金と礼金は不要)
- ・富田林市寺池台1-16、224-404 (南海高野線金剛駅下車徒歩3分)

★問い合わせ先
堺聖テモテ教会 内田司祭まで
(072-261-2015)

大阪教区成立 91 周年

そうだ、教区礼拝に行こう。

今年の教区礼拝（聖餐式）では、堅信式が行われます。
 神様に導かれ、たくさんの方が揃って堅信の恵みにあずかる
 “感謝と賛美の大礼拝”となることでしょう。
 今年のテーマは、「主にあって、わたしたちは一つ」です。
 教区 22 の教会が、この日一つとなって、互いに元気をもらい、
 それぞれの教会に戻って、希望をもって宣教の業に励むことが
 できるような礼拝を目指しています。
 ぜひ、皆さんもご出席ください。



2014 年大阪教区礼拝

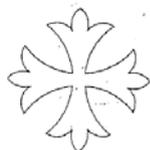
と き：2014年 9月28日(日) 午前10時30分より
 ところ：プール学院中高（勝山キャンパス）清心館
 司式・説教 主教 サムエル 大西 修 師父

午後のぷろぐらむ
おうる寄席

と き 1時半から2時半ごろ
 ところ 清心館（礼拝堂）
 出演 露のききょう
 桂 勢朝
 笑福亭仁嬌

入場無料
 (席上献金あり)

*お履き物はそのままでお入りいただけますが、ハイヒールなど床を傷めるおそれのあるものはご遠慮ください。
 *駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。



大阪教区 礼拝・音楽委員会
聖布ししゅう会

9月16日(火)、10月21日(火)
 10:30 ~ 15:00
 教区事務所 2 階にて

持ち物：昼食、お茶、
 裁縫箱など普段使用しているもの
 はさみ、ものさし、筆記具など

● 基本的に、毎月第3火曜日に行われますが、
 行事などにより、変更される場合があります。

詳しいお問い合わせなどは下記まで。
 教区事務所 (Tel:06-6621-2179) または、
 礼拝・音楽委員会 (オルター奉仕刺しゅう会担当)

大阪教区婦人会
秋の修養会

テーマ

障がいある息子とともに
 — 命の輝きを語りかける音色を求めて —

講 師 稲光 宏子さん
 ヴァイオリン奏者 廣澤 大介さん
 ピアノ 赤川 京子さん

日 時 2014年10月18日(土)
 (福音記者聖ルカ日) 午後1時～
 場 所 堺聖テモテ教会

献金先/廣澤大介さんのお働きのために
 社会福祉法人 森の宮福祉会
 高齢者総合ケアセンター「ハミングベル中道」
 社会福祉法人 聖ヨハネ学園
 障害者支援施設「地域生活支援センター光」

教区の動き

常置委員会報告

9月9日(第8回定例)

I. 主教報告 及び諸報告

*日本聖公会第61(定期)総会の主要議案の報告がなされた。

II. 協議事項

*第112(臨時)教区会(大阪)



ファイベ 山上 操伝道師が逝去されました
ファイベ 山上 操伝道師が、7月9日(水)午前11時20分、103歳の生涯

を終えられました。通夜の祈り、葬送式はそれぞれ10日、11日、いずれも和歌山聖救主教会(京都教区)で近親者のみで執り行われました。魂の平安のため、ご遺族のために、慰め、励ましをお祈りします。

教区主教選挙の公示を8月1日とするとの諮問あり承認。

*教区礼拝(9月28日)合同堅信式行う。各教会から代祷項目を出し、共に祈る。午後は落語会(福音落語など)を予定。

7月14日(第9回定例)

I. 主教報告 及び諸報告

II. 協議事項

*財務委員会より2015年度大阪教区一般会計暫定予算案が示され、協議確認のうえ7月18日開催の会計委員懇談会での協議に委ねた。
*「尼崎ステパノ教会牧師館建替及び駐車場増設」に関する借り入れについて承認。

教会・施設の動き

○守口復活教会の会館が与え

られて、9年目を迎えます。できるだけきれいに使い、こまめに掃除をしています。床の本格的な洗浄・ワックス掛けはなかなかできず、つやを失っていました。6月1日の礼拝に引き続き大掃除をしました。デッキブラシで床を洗い、水分を拭き取り、乾燥させてワックス掛けをしました。また、夏は草木の成長が速く、芝生、草木の手入れも道行く人へのおもてなしであり、美しい庭と建物は宣教の業と位置付け、元気な人が率先して行っています。

川口基督教会

○9月6日(土)午後2時から川口チャペルコンサートが行われます。
○11月2日(日)礼拝後、川口バザー&オルガンコンサートが行われます。

聖贖主教会

○博愛社フェスティバル(ゲーム、アトラクション、バザー、模擬店)は10月19日(日)午前10時開始。聖餐式は午前8時30分と午前10時30分の二部制です。

西宮聖ペテロ教会

○11月15日(土)午後2時から3時30分まで、聖堂にて、福井達雨先生(止揚学園園長)講演会と止揚シスターズ賛美。テーマは「愛について」。

桃山学院大学

○10月17日(金)(時間は未定)大学チャペルにおいてアーサー・ホーランド氏をお招きして講演会を行います。入場無料。ご参加ください。

○10月22日(水)午後1時30分から、第119回チャペル・コンサートを開催します。1980年代に「異邦人」で大ヒットした、久米小百合氏(旧芸名・久保田早紀)をお招きします。お誘い合わせのうえご来場ください。入場無料。

○10月28日(火)午後3時から、姜 尚中(カン・サンジュン)氏によるキリスト教講演会を開催いたします。入場無料。なお、来場者が多数予想されますので、この講演会のみ抽選とさせていただきます。参加希望者は大学ホームページから応募してください。締め切りは9月22日です。

教区関係教役者
逝去者記念聖餐式

◇ 9月10日 (水) 10時30分

於：主教座聖堂 (川口基督教会)

- 説教者：施洗者ヨハネ 山本 眞司祭
4日 執 事 ラザロ 布施 好古 (1938)
6日 主 教 ヨハネ 名出 保太郎 (1945)
9日 司 祭 ジェームズ・J・チャプマン (1946 英)
11日 司 祭 チャールズ・ハムデン・バジル・ウッド (1941 英)
12日 主 教 ヘンリー・エヴィントン (1912 英)
14日 宣教師 ドロシー・サローム・ワインウイelson (1963 英)
23日 主 教 ペテロ 柳原 貞次郎 (1973)
司 祭 ドナルド・F・ウインズロー (2000 米)
25日 司 祭 田中 正之助 (1927)
27日 宣教師 エルシー・メイ・ベイカー (1977 英)

◇ 10月8日 (水) 10時30分

於：主教座聖堂 (川口基督教会)

- 説教者：ジョイ 千松清美司祭
2日 司 祭 ジョージ・チャプマン (1940 英)
9日 主 教 ヨハネ 山田 襄 (1993)
12日 司 祭 マルコ 岡 精三 (1997)
16日 主 教 ペテロ 松井 米太郎 (1946)
主 教 サムエル・ヘーズレット (1947 英)
18日 司 祭 ステパノ 木庭 孫彦 (1928)
20日 司 祭 チャールズ・セオドア・ワレン (1949 英)
23日 司 祭 ステパノ 遠藤 敏雄 (1971)
24日 司 祭 深田 直太郎 (1945)
司 祭 ペテロ 横田 久明 (1995)
25日 宣教師 イブリン・アリス・レーン (1971 英)
29日 司 祭 セオドシアス・ステファンズ・ティング (1927 英)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分
から、主教座聖堂 (川口基督教会) で行われます。ご関係の
有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。



○大阪聖愛教会

ユニケ 谷村 直子 (4月1日)

○堺聖テモテ教会

ローレンス・アンダーソン・
ジェシー・チャム (6月8日)

ユニケ

谷村 直子 (7月17日)

○西宮聖ペテロ教会

マリア 大澤 澄子 (7月7日・93歳)

教区報第437号訂正

○守口復活教会

ヨハネ 糟谷 茂 (6月8日)

○大阪聖三一教会

ジョージ 藤原 創 (7月6日)



魂の平安を祈ります

○川口基督教会

ヨハネ 山下 道介 (6月29日・80歳)

○大阪聖愛教会

ヤコブ 濱田 敦 (7月10日・72歳)

○西宮聖ペテロ教会

ペテロ 大澤 壽文 (7月13日)

○大阪聖愛教会

フィリポ 松本 忠 (7月13日)

パウロ

田中 宏 (7月13日・84歳)

○芦屋聖マルコ教会

テレジア 森田 齊子 (7月12日・78歳)

*6月22日発行の教区報第437号の訂正は以下の通りです。お詫びします。
12頁・魂の平安を祈ります
4段・9行目
(誤) 司祭サムエル樋口隆照
(正) 司祭サムエル樋口孝照
同・10行目 (誤) 78歳 (正) 89歳
同・11行目
(誤) バルトロマイ 森田和吉
(正) バルトロマイ 森田和吉
12頁・教区関係教役者逝去記念聖餐式(開始時刻)
3箇所(3段、23段、35段)
(誤) 午前11時
(正) 午前10時30分

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。
京都教区広報担当『つのおえ』
編集部との協働を始めました。
新しくOKロゴマークを冠した
2点が両教区報の同一内容
の記事です。両教区のさらなる
協働・合併が推進されること
を願ひ祈ります。

(広報委員一同)